

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-331227
(43)Date of publication of application : 30.11.2000

(51)Int.Cl. G07F 7/08
G06F 17/60
G07F 19/00

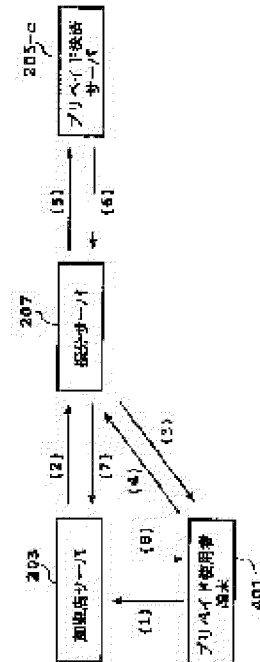
(21)Application number : 2000-231687 (71)Applicant : SUMITOMO CREDIT SERVICE CO LTD
(22)Date of filing : 31.07.2000 (72)Inventor : FUKUMA TETSUYA
FUJIO SHINJI

(54) SYSTEM AND METHOD FOR SETTLEMENT AND SERVER AND METHOD FOR MANAGING PREPAYING

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a settlement system by which prepaid settlement is presented to the user of another card as a gift.

SOLUTION: A subscribing member designate information of transmitting destination information of ID(identity number) issued by a prepaying settlement server 205-c when he or she applies for prepaying. The server 205-c issues ID corresponding to the application and transmits it to the transmitting destination. The server 205-c checks ID and a password received from a terminal of a merchandise purchaser, confirms that he or she is a prepaying user and, then, recognizes the balance to investigate a payment ability. An investigation result is transmitted to an assignment server 207 (6). When payment is possible, a prepaying amount (the balance) corresponding to ID is updated based on transaction request information.



(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 7 F 7/08		G 0 7 F 7/08	
G 0 6 F 17/60	Z E C	G 0 6 F 17/60	Z E C
	3 3 2		3 3 2
	4 0 0		4 0 0
G 0 7 F 19/00		G 0 7 D 9/00	4 7 6
審査請求 有 請求項の数11 O L 公開請求（全 9 頁）			

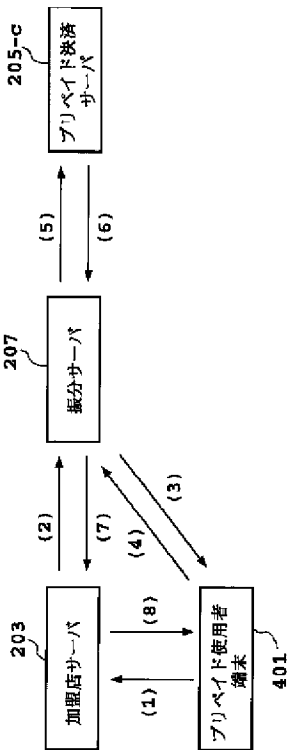
(21)出願番号	特願2000－231687(P2000－231687)	(71)出願人	594103301 株式会社住友クレジットサービス 大阪府大阪市中央区今橋4丁目5番15号
(22)出願日	平成12年7月31日(2000.7.31)	(72)発明者	福間 哲也 東京都港区新橋5丁目2番10号 株式会社 住友クレジットサービスeビジネス推進部 内
		(72)発明者	藤尾 真嗣 東京都港区新橋5丁目2番10号 株式会社 住友クレジットサービスeビジネス推進部 内
		(74)代理人	100077481 弁理士 谷 義一（外2名）

(54)【発明の名称】 決済システム、決済方法、プリペイド管理サーバおよびプリペイド管理方法

(57)【要約】

【課題】 プリペイド決済をギフトとして他のプリペイド使用者へプレゼントすることができる決済システムを提供する。

【解決手段】 加入会員は、プリペイド申込の際に、プリペイド決済サーバ205-cによって発行されるIDの送信先の情報を指定する。プリペイド決済サーバ205-cは申込に対応するIDを発行し、その送信先に送信する。プリペイド決済サーバ205-cは商品購入者の端末から受信したIDおよびパスワードのチェックを行い、プリペイド使用者であることを確認した後、残高を確認することにより支払い能力を審査する。審査結果は振分サーバ207へ送信される（（6））。支払可能であれば、取引要求情報に基づき、IDに対応するプリペイド額（残高）を更新する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 取引情報を提供する加盟店サーバと、前記加盟店サーバに取引要求情報を送信する加入会員端末と、

前記加入会員端末から識別情報を受信しおよび前記加盟店サーバから取引要求情報を受信し、前記識別情報に対応するプリペイド額を、前記取引要求情報に基づき更新するプリペイド決済サーバとを備え、該プリペイド決済サーバは、前記プリペイド額および前記識別情報の送信先の情報を含むプリペイド申込情報を受信すると、前記識別情報を発行し、前記識別情報と前記プリペイド額とを結び付けて記憶し、前記送信先に、前記識別情報を送信することを特徴とする決済システム。

【請求項2】 前記プリペイド決済サーバは、前記加盟店サーバを介して前記プリペイド申込情報を受信することを特徴とする請求項1に記載の決済システム。

【請求項3】 前記プリペイド申込情報に、前記識別情報の送信日時の情報が含まれる場合、前記プリペイド決済サーバは、前記送信日時情報で示される送信日時に、前記識別情報を送信することを特徴とする請求項1または2に記載の決済システム。

【請求項4】 前記識別情報は互いに異なる複数の決済方法を判別するための情報を含み、前記決済システムは、前記プリペイド決済サーバと異なる決済方法が可能である少なくとも1つの決済サーバと、前記加入会員端末から前記識別情報を受信し、前記決済サーバから前記取引要求情報を受信し、前記識別情報に基づいて決済方法を判別する振分サーバとを備え、前記プリペイド決済サーバは、前記振分サーバを介して前記識別情報および前記取引要求情報を受信することを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の決済システム。

【請求項5】 前記振分サーバは、前記加入会員端末からパスワードをさらに受信しおよび前記プリペイド決済サーバに送信することを特徴とする請求項4に記載の決済システム。

【請求項6】 前記パスワードは、前記プリペイド決済サーバによって発行されることを特徴とする請求項5に記載の決済システム。

【請求項7】 前記プリペイド決済サーバは、前記識別情報およびパスワードに基づいて個人認証を行うことを特徴とする請求項5または6に記載の決済システム。

【請求項8】 前記加入会員端末は、異なる決済方法を使用するための複数の識別情報を前記振分サーバに送信可能であることを特徴とする請求項4～7のいずれか1項に記載の決済システム。

【請求項9】 プリペイド額および前記識別情報の送信先の情報を含むプリペイド申込情報を受信する受信手段と、

識別情報を発行し、該識別情報と前記プリペイド額とを結び付けて記憶する記憶手段と、前記識別情報を前記送信先に送信する送信手段とを備えることを特徴とするプリペイド管理サーバ。

【請求項10】 プリペイド額および識別番号を含むプリペイド申込情報を受信するステップと、前記識別情報を発行し、該識別情報と前記プリペイド額とを結び付けて記憶するステップと、前記識別情報を前記送信先に送信するステップと、加入会員端末から識別情報を受信するステップと、加盟店サーバから取引要求情報を受信するステップと、前記識別情報に対応するプリペイド額を、前記取引要求情報に基づき更新する更新ステップとを備えることを特徴とする決済方法。

【請求項11】 プリペイド額および前記識別情報の送信先の情報を含むプリペイド申込情報を受信する受信ステップと、識別情報を発行し、該識別情報と前記プリペイド額とを結び付けて記憶する記憶ステップと、前記識別情報を前記送信先に送信する送信ステップとを備えることを特徴とするプリペイド管理方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、決済システム、決済方法、プリペイド管理サーバおよびプリペイド管理方法に関し、より詳細には、ネットワーク型のコンテンツに対する課金技術としてのプリペイド型の電子決済に対応した決済システム等に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来から存在している電子決済の方法として、決済サービスの会員を識別するために識別情報として識別番号（ID）およびパスワードを使用し、インターネットを介して商品の購入等を行う方法が知られている。

【0003】 図5は、従来例におけるネットワークを利用したクレジットカード会社への決済処理の流れを示す。

【0004】 501は加入会員端末であり、電子決済サービスにより商品の購入等を行う際に加入会員が使用するPC（パーソナル・コンピュータ）である。503は加盟店サーバであり、クレジットカード会社に対する加入会員の与信を決済サービス会社に委託している小売店舗によって管理される。507は決済サービス会社が管理する認証サーバであり、クレジットカード会社に対する与信照会、および照会に対する承認の情報の中継業務を行う。また、505はクレジットカード会社が管理するクレジット決済サーバである。加入会員端末501、加盟店サーバ503、認証サーバ507、クレジット決済サーバ505は、それぞれコンピュータ・システム間の通信により以下の情報の授受を行う。

【0005】決済サービスシステムにおいて、加入会員端末501は、インターネットに接続し、加盟店サーバ503のホームページ上で商品の情報を閲覧する。希望の商品を購入する場合、加入会員は、加入会員端末501から加盟店サーバ503に対し注文書と支払い書を含む電子ファイルを送り、商品の注文を行う（（1））。注文に際しては、購入者を識別するために会員が会員端末501からホームページ上で入力した識別番号（ID）およびパスワードが送信される。商品の注文を受けた加盟店サーバ503は、注文書に基いて、認証サーバ507に対しIDおよびパスワードを含む注文内容を連絡する（（2））。

【0006】ここで、認証サーバ507には、IDに対応付けられたクレジットカードの会員番号が予め登録されている。認証サーバ507は加盟店サーバ503から受け取ったIDおよびパスワードを確認して加入会員の認証を行う。認証の結果IDとパスワードの正当性が認められると、IDに対応する会員番号に基いて、会員に支払能力があるかどうかクレジットカード会社505への問い合わせ、すなわち与信を行う（（3））。

【0007】クレジット決済サーバ505は問い合わせに対して加入会員が支払い可能であるかの審査を行い、認証サーバ507に返事を返す（（4））。この内容は加盟店サーバ503へ送られ（（5））、返事の結果、会員が支払い可能であれば、加盟店から会員へ商品の発送が行われる。その後、クレジットカード会社から加盟店へ代金の支払いが行われる。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】現在、電子決済取引の多様化が進み、ネットワーク型のコンテンツに対する種々の課金技術が銀行やクレジット会社などを巻き込んでさかんに実験・開発され、あるいは実用化されている。特に、決済サービスの会員が利用予定額を予め決済サービス会社に振り込んでおくと、その会社と提携した店舗でオンラインショッピングの支払いができるというプリペイド型の決済方法が普及しつつある。

【0009】しかし、従来から存在しているプリペイド決済方法では、プリペイド（額）の購入者に限りプリペイド決済ができるに過ぎず、プリペイドを他人に贈答することができなかった。また、プリペイドの購入者は、決済サービスの加入者に限られているため、プリペイド決済の利用範囲は限定的なものとなっていた。

【0010】そこで、本発明の目的は、プリペイド型のインターネット決済取引における決済の利用予定額を第三者に贈答できる決済システム、決済方法、プリペイド管理サーバおよびプリペイド管理方法を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、決済システムであって、

取引情報を提供する加盟店サーバと、前記加盟店サーバに取引要求情報を送信する加入会員端末と、前記加入会員端末から識別情報を受信しおよび前記加盟店サーバから取引要求情報を受信し、前記識別情報に対応するプリペイド額を、前記取引要求情報に基づき更新するプリペイド決済サーバとを備え、該プリペイド決済サーバは、前記プリペイド額および前記識別情報の送信先の情報を含むプリペイド申込情報を受信すると、前記識別情報を発行し、前記識別情報と前記プリペイド額とを結び付けて記憶し、前記送信先に、前記識別情報を送信することを特徴とする。

【0012】また、請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の決済システムにおいて、前記プリペイド決済サーバは、前記加盟店サーバを介して前記プリペイド申込情報を受信することを特徴とする。

【0013】また、請求項3に記載の発明は、請求項1または2に記載の決済システムにおいて、前記プリペイド申込情報に、前記識別情報の送信日時の情報が含まれる場合、前記プリペイド決済サーバは、前記送信日時情報で示される送信日時に、前記識別情報を送信することを特徴とする。

【0014】また、請求項4に記載の発明は、請求項1～3のいずれか1項に記載の決済システムにおいて、前記識別情報は互いに異なる複数の決済方法を判別するための情報を含み、前記決済システムは、前記プリペイド決済サーバと異なる決済方法が可能である少なくとも1つの決済サーバと、前記加入会員端末から前記識別情報を受信し、前記決済サーバから前記取引要求情報を受信し、前記識別情報に基いて決済方法を判別する振分サーバとを備え、前記プリペイド決済サーバは、前記振分サーバを介して前記識別情報および前記取引要求情報を受信することを特徴とする。

【0015】また、請求項5に記載の発明は、請求項4に記載の決済システムにおいて、前記振分サーバは、前記加入会員端末からパスワードをさらに受信しおよび前記プリペイド決済サーバに送信することを特徴とする。

【0016】また、請求項6に記載の発明は、請求項5に記載の決済システムにおいて、前記パスワードは、前記プリペイド決済サーバによって発行されることを特徴とする。

【0017】また、請求項7に記載の発明は、請求項5または6に記載の決済システムにおいて、前記プリペイド決済サーバは、前記識別情報およびパスワードに基いて個人認証を行うことを特徴とする。

【0018】また、請求項8に記載の発明は、請求項4～7のいずれか1項に記載の決済システムにおいて、前記加入会員端末は、異なる決済方法を使用するための複数の識別情報を前記振分サーバに送信可能であることを特徴とする。

【0019】また、請求項9に記載の発明は、プリペイ

ド管理サーバであって、プリペイド額および前記識別情報の送信先の情報を含むプリペイド申込情報を受信する受信手段と、識別情報を発行し、該識別情報と前記プリペイド額とを結び付けて記憶する記憶手段と、前記識別情報を前記送信先に送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

【0020】また、請求項10に記載の発明は、決済方法であって、プリペイド額および識別番号を含むプリペイド申込情報を受信するステップと、前記識別情報を発行し、該識別情報と前記プリペイド額とを結び付けて記憶するステップと、前記識別情報を前記送信先に送信するステップと、加入会員端末から識別情報を受信するステップと、加盟店サーバから取引要求情報を受信するステップと、前記識別情報に対応するプリペイド額を、前記取引要求情報に基づき更新する更新ステップとを備えることを特徴とする。

【0021】また、請求項11に記載の発明は、プリペイド管理方法であって、プリペイド額および前記識別情報の送信先の情報を含むプリペイド申込情報を受信する受信ステップと、識別情報を発行し、該識別情報と前記プリペイド額とを結び付けて記憶する記憶ステップと、前記識別情報を前記送信先に送信する送信ステップとを備えることを特徴とする。

【0022】このような方法を取ることにより、各店舗がプリペイド型の決済方法を導入するための重複労力を軽減することが可能となる。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施形態を詳しく説明する。

【0024】図1は、本発明の決済システムにおいて使用されるコンピュータ・システムのハードウェア構成を示す。

【0025】コンピュータ・システムは、中央処理装置（CPU）101とRAM105とを含む。CPU101およびRAM105は、バス117を介して、補助記憶装置107と接続されている。補助記憶装置107、ROM103等の記憶媒体には、RAM105にロードされてCPU101等に所望の命令を与え、本発明を実施するためのコンピュータ・プログラムのコードを記録することができる。

【0026】このコンピュータ・プログラムはオペレーティングシステムと協働して実行される。オペレーティング・システムとしては、標準でGUIマルチウインドウ環境をサポートするものが望ましいが、本発明は特定のオペレーティング・システム環境に限定されるものではない。

【0027】109はバス117に結合された通信インタフェースである。通信インタフェース109は、例えばインターネット／WWW（World Wide Web）へのデータ通信接続を可能とする統合サービスデジタル網（I

SDN）カード、またはモデムとすることができる。

【0028】115はCRTなどの表示装置、111はキーボード等のように文字や数字を入力するための入力装置、113は表示装置115上でのカーソルの移動を制御するマウスやトラックボールなどのカーソル制御装置である。これらは、バス117を介して結合される。

【0029】なお、図1の例では、スタンド・アロン環境のシステムを示しているが、クライアント／サーバ・システムとして実施することができる。このような場合、クライアント・マシンは、サーバ・マシンに対して、イーサネット等でLAN接続することができるので、本発明の実施に必要な機能の一部をサーバ・マシン側に配置してもよい。サーバ・マシン、またはクライアント・マシンにどのような機能を配置するかは本発明の適用に応じて設計変更が可能であり、実施の態様に関する種々の変更は本発明の思想に包含される概念である。

【0030】図2は、本実施形態に係る決済システムの構成を示す。

【0031】図2において、207は通信ネットワークとしてのインターネットを介して取引要求情報（例えば、注文書と支払い書とを含む販売情報、およびこの販売情報を送信した加盟店サーバ203の情報）を振分ける振分サーバである。振分サーバ207は、インターネット上にHTML言語（HyperText Markup Language）で記述されたホームページを公開し、このホームページを通じて、本実施形態に係る決済システムが提供する決済サービスの加盟店や加入会員と情報の授受を行うことができる。

【0032】201は加入会員端末であり、本実施形態に係る決済サービスの加入会員のPC（パーソナル・コンピュータ）である。加入会員は、加入会員端末201を利用して各加盟店サーバ203へアクセスし、商品またはサービスの購入を行う。加入会員端末201は、クライアントとも呼ばれる。203は加盟店サーバで、本実施形態に係る決済サービスを振分サーバ207に委託している小売店のサーバである。加盟店サーバ203は、ホームページを公開し、このページを通じて商品またはサービスの販売情報などの取引情報を提供する。

【0033】205-aはクレジットカードの決済サーバ、205-bはデビットカードの決済サーバであり、本実施形態に係る決済サービスに加入した会員が電子決済方法により支払い可能であるか否か審査を行う。205-cはプリペイド決済サーバである。決済サーバ205の補助記憶装置107は、決済サービスの加入会員の審査に関連するデータベースを記憶する。たとえば、加入会員の会員番号や、その会員に貸与可能な限度額などのデータを表の形態で保存記憶する。

【0034】プリペイド決済サーバ205-cは、振分サーバ207と専用線を通じて決済情報の通信処理を行う。また、これらのサーバは図示しない回線によりイン

ターネットに接続され、振分サーバ207を介さずに加入会員端末201等と通信処理を行うことも可能である。

【0035】クレジット決済サーバ205-aおよびデビット決済サーバ205-bは、振分サーバ207と通信処理を行うため、決済方法に特有の中継サービスセンタ211と接続される。決済方法としてクレジットカードが使用される場合の中継サービスセンタ211-aとしては、例えば株式会社KDDコミュニケーションズが運営する中継サービスセンタであるC-HASセンタを介して決済会社と通信処理を行う。決済方法として銀行のカードが使用される場合の中継サービスセンタ211-bとしては、例えば株式会社NTTデータが提供するオンラインクレジット情報サービスセンタであるCAFISセンタが使用される。決済データの中継サービスセンタ211を介した通信処理においては、個人情報盗用を防ぐため、独自の暗号化／復号化処理が行われる。

【0036】各コンピュータ・システムは、ネットワーク間の中継を行うためのプログラムであるゲートウェイ・プログラムを実装する。また、コンピュータ・システムには、インターネット上のホームページのHTML言語を実際に閲覧可能な形に変換する閲覧ソフトとして、ブラウザが導入（インストール）されている。ブラウザとしては、例えばネットスケープ社のNetscape Navigator、マイクロソフト社のInternet Explorer等を使用する。ただし、これらは例示であって、本発明におけるブラウザ環境を限定するものではない。

【0037】インターネットに接続されたコンピュータ・システム間では、HTTP（Hypertext Transport Protocol）プロトコルに基づき、WWWサーバとWebブラウザとの間でHTML文書の授受を行う。したがって、各コンピュータ・システムのWebブラウザからURL（Uniform Resource Locator）形式でWWWサーバ上のHTML文書を指定し、または呼び出すことができる。

【0038】コンピュータ・システム間でインターネットを介して行われる情報の授受においては、個人情報盗用を防ぐため、暗号化／復号化処理が行われる。個人情報やクレジット情報の授受における暗号化方式としては、SSL（SecureSocket Layer）という暗号化方式が使用される。WWWサーバにアクセスし、データを読み込むためのWWWブラウザがSSLに対応していれば（例えば、ネットスケープ社のNetscape Navigator、マイクロソフト社のInternet Explorer等）、各コンピュータ・システムにおいて特別な設定をすることなく暗号化された情報の授受を行うことができる。

【0039】以下に、本実施形態に係る決済システムの動作について詳細に説明する。

【0040】（1）プリペイドID発行処理

本実施形態に係るクレジット決済サービスまたはデビッ

ト決済サービスの加入会員は、プリペイドを申込むことにより、プリペイド決済を利用することが可能となる。申込処理は、プリペイド決済サーバ205-cがクレジットカードまたはデビットカードの会員に固有のIDを発行することにより行われる。以下、プリペイド決済サーバ205-cが行なうプリペイドID発行処理について説明する。

【0041】図3は、本実施形態に係る決済システムにおけるプリペイドID発行処理の流れを示す。

【0042】クレジット決済サービスまたはデビット決済サービスの加入会員は、加入会員端末201から加盟店サーバ203のホームページ上でプリペイドを申し込む（（1））。プリペイドの申込情報を受信した加盟店サーバ203は、振分サーバ207に対し与信の取次ぎを依頼する（（2））。依頼を受けた振分サーバ207は、加入会員端末201に対してクレジット決済サービスまたはデビット決済サービス利用時のID、登録されたパスワード、プリペイドする額などの入力を要求する（（3）および（4））。これらの情報を受信した振分サーバ207は、入力されたIDの所定の桁に基いて加入会員の決済方法を判断する。

【0043】ここで、IDから判断された決済方法がクレジットカードによる決済の場合は、中継サービスセンタ211-aを介してクレジット決済サーバ205-aに対し取引要求情報を送信して与信の依頼を行う

（（5））。クレジット決済サーバ205-aは加入会員の審査を行い、審査結果が振分サーバ207を経由して加盟店サーバ203へ送信される（（6）および

（7））。一方、IDから判断された決済方法が銀行カードによる決済の場合は、中継サービスセンタ211-bを介してデビット決済サーバ205-bに対し取引要求情報を送信して与信の依頼を行う（（5））。デビット決済サーバ205-bは加入会員の審査を行い、審査結果が振分サーバ207を経由して加盟店サーバ203へ送信される（（6）および（7））。

【0044】審査の結果、加入会員がプリペイド可能であれば、プリペイド申込情報（審査結果、プリペイド額等）が加盟店サーバ203からプリペイド決済サーバ205-cに送信される。プリペイド決済サーバ205-cは、プリペイド申込情報を受信すると、プリペイドを識別するためのIDおよびパスワードを自動作成により発行し、そのIDとプリペイド申込情報に含まれるプリペイド額とを結び付けて記憶する。そして、IDおよびパスワードを加盟店サーバ203へ送信し（（9））、加盟店サーバ203はその受信情報を加入会員端末201へ送信する（（10））。IDおよびパスワードは加入会員端末201に表示され、加入会員はそのプリペイドを使用できるようになる。その後、決済会社から販売店へプリペイドの金額が支払われることとなる。なお、本実施形態においては、会員のパスワードをプリペイド

決済サーバ205-cが自動作成することとしているが、プリペイド決済サーバ205-cがプリペイドの申込会員に対しパスワードの入力を促し、入力されたパスワードを登録することとしても良い。

【0045】加入会員は、プリペイド申込の際に、IDの送信先の情報（例えば、メールアドレス）を指定することができる。これにより、申し込んだ加入会員以外の人にプリペイド（額）をギフトとして贈答することができる。プリペイド決済サーバ205-cは、プリペイド申込情報にIDの送信先の情報が含まれている場合には、その送信先にIDを送信する。パスワードはIDと一緒に送信するようにしてもよいし、送信しないようにしてもよい。パスワードは、例えば、申込者が指定してプリペイドの受取人（贈答を受ける人）に連絡するようにすることができる。プリペイド決済サーバ205-cは、受取人が一旦パスワードを変更した段階で、プリペイドを使用できるようにしてもよい。

【0046】また、加入会員は、プリペイド申込の際に、IDの送信日時の情報を指定することができる。プリペイド決済サーバ205-cは、プリペイド申込情報にIDの送信日時の情報が含まれている場合には、その送信日時にIDを送信する。

【0047】（2）プリペイド決済処理

図4は、本実施形態に係る決済システムを利用した決済処理の流れを示す。ここで、401は、プリペイドを申込み、プリペイド使用時のIDが発行された加入会員またはプリペイドの受取人（以下、「プリペイド使用者という」）が使用するプリペイド使用者端末である。

【0048】プリペイド使用者は端末401をインターネットに接続し、加盟店サーバ203のホームページ上で商品またはサービスの販売情報を閲覧する。希望の商品を購入する場合、プリペイド使用者はプリペイド使用者端末401の表示装置115上に表示されるホームページ上の注文書と支払い書に商品の購入情報を入力して、商品の注文を行う（（1））。すると、加盟店サーバ203は、取引要求情報を振分サーバ207に送信する（（2））。

【0049】振分サーバ207は、プリペイド使用者端末401の表示装置上に、加入会員自身の情報としてIDおよびパスワードを要求する旨を記載したホームページを表示する。更に、ホームページの上にIDおよびパスワードを入力するためのダイアログボックスを表示する（（3））。ここで表示されるダイアログボックスの例を図6に示す。

【0050】プリペイド使用者は、このダイアログボックスの記入欄に、プリペイド決済サーバ205-cによって自動採番されたIDおよびパスワードを入力し、OKボタンを押下して、入力内容を振分サーバ207へ送信する（（4））。この情報を受信した振分サーバ207は、IDの所定の桁からそのIDの発行元を判別す

る。

【0051】振分サーバ207は、IDから判断された決済方法がプリペイド決済であることを判別すると、プリペイド決済サーバ205-cに対し、取引要求情報、IDおよびパスワードを送信して認証の依頼を行う（（5））。プリペイド決済サーバ205-cはIDおよびパスワードのチェックを行い、プリペイド使用者であることを確認した後、残高を確認することにより支払い能力を審査する。審査結果は振分サーバ207へ送信される（（6））。支払可能であれば、取引要求情報に基づき、IDに対応するプリペイド額（残高）を更新する。すなわち、プリペイド額から取引額を減じる。

【0052】振分サーバ207はこの審査結果を、加盟店サーバ203へ送信する（（7））。加盟店サーバ203は加入会員端末201に審査結果を示すHTML文書を加入会員端末201に表示する（（8））。加入会員が支払い可能であれば、商品の購入が確定し、加盟店から会員へ商品の発送が行われ、決済会社から加盟店へ代金の支払いが行われる。ここで、加入会員が支払い可能である場合に、購入情報の確認を要求することとしてもよい。確認の要求は、所定の確認ボタンを設置したHTML文書を加入会員端末201に表示し、会員にボタンの押下を促すことにより行うことができる。

【0053】以上、本発明の好適な実施形態を説明したが、本発明はこの実施形態のみに限定されることなく他の種々の態様でも実施することができることは言うまでもない。たとえば、本実施形態に係る決済サービスシステムには他の形態の決済方法をさらに導入することが可能である。

【0054】また、本実施形態における決済処理は、決済サーバごとに独立して行われるが、異なる決済方法を組み合わせることもできる。例えば、プリペイドの会員が三千円の商品を購入しようとしたが、図4の（6）においてプリペイドの残高が千円である旨を振分サーバ207が受信したとする。振分サーバ207は加入会員端末201に審査結果を表示すると同時に、ダイアログボックスを表示して加入会員に再びIDおよびパスワードの入力を促す。ここで、加入会員がクレジット決済サービスのIDを取得している場合は、このIDを入力する。振分サーバ207は受信したIDに基いてクレジット決済サーバ205-aに対する与信処理を行う。審査の結果、加入会員が不足額を支払い可能であれば、振分サーバ207は加盟店サーバ203に対し、千円をプリペイドで、不足額の二千円をクレジットカードで支払うことができる旨を送信する。そして、加盟店サーバ203は、プリペイド使用者に対して商品等購入の確認を行う。この処理は、プリペイドによる決済とデビットカードによる決済とを組み合わせる場合であっても同様である。

【0055】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、取引情報を提供する加盟店サーバと、加盟店サーバに取引要求情報を送信する加入会員端末と、加入会員端末から識別情報を受信しおよび加盟店サーバから取引要求情報を受信し、識別情報に対応するプリペイド額を、取引要求情報に基づき更新するプリペイド決済サーバとを備え、プリペイド決済サーバは、プリペイド額および識別情報の送信先の情報を含むプリペイド申込情報を受信すると、識別情報を発行し、識別情報とプリペイド額とを結び付けて記憶し、送信先の情報で示される送信先に、識別情報を送信することを特徴とするので、決済サービスの加入会員は、プリペイド決済をギフトとして他のプリペイド使用者へプレゼントすることができる。

【0056】また、識別情報は互いに異なる複数の決済方法を判別するための情報を含み、決済システムは、プリペイド決済サーバと異なる決済方法が可能である少なくとも1つの決済サーバと、加入会員端末から識別情報を受信し、決済サーバから取引要求情報を受信し、識別情報に基づいて決済方法を判別する振分サーバとを備え、プリペイド決済サーバは、振分サーバを介して識別情報および取引要求情報を受信するので、各店舗のサーバを振分サーバに対応するようにシステム構築しておけば足り、決済サービスに異なる決済方法が追加された場合であっても更にシステム対応をする必要がない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の決済システムにおいて使用されるコンピュータ・システムのハードウェア構成を示す図である。

【図2】本発明の一実施形態に係る決済システムの構成を示す図である。

【図3】本発明の一実施形態に係る決済システムにおけ

るプリペイドID発行処理の流れ図である。

【図4】本発明の一実施形態に係る決済システムを利用したプリペイド決済処理の流れ図である。

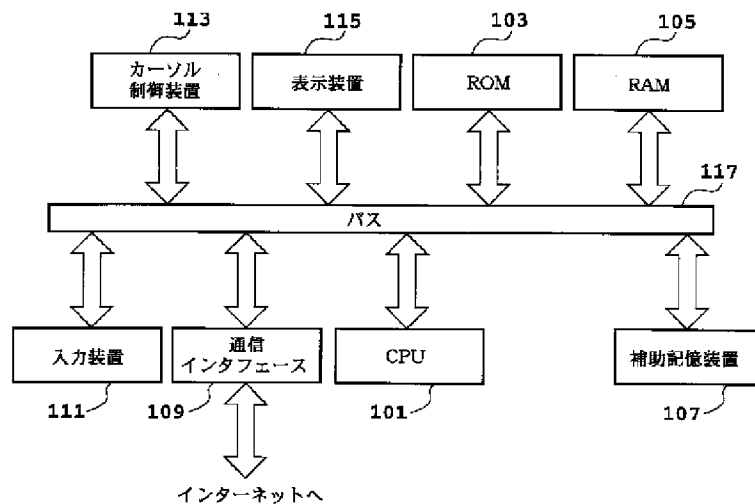
【図5】従来例におけるネットワークを利用したクレジットカード会社への決済処理の流れ図である。

【図6】加入会員端末の表示装置に表示されるダイアログボックスの例を示す図である。

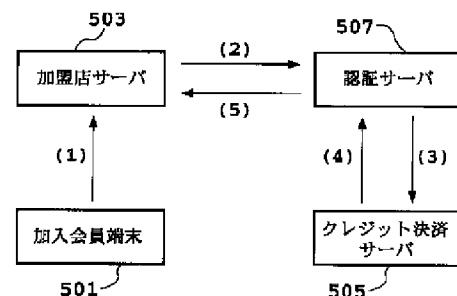
【符号の説明】

101	CPU
103	ROM
105	RAM
107	補助記憶装置
109	通信インタフェース
111	入力装置
113	カーソル制御装置
115	表示装置
117	バス
201	加入会員端末
203	加盟店サーバ
205-a	クレジット決済サーバ
205-b	デビット決済サーバ
205-c	プリペイド決済サーバ
207	振分サーバ
211-a、211-b	中継サービスセンタ
401	プリペイド使用者端末
501	加入会員端末
503	加盟店サーバ
505	クレジット決済サーバ
507	認証サーバ
601	記入欄
603	OKボタン

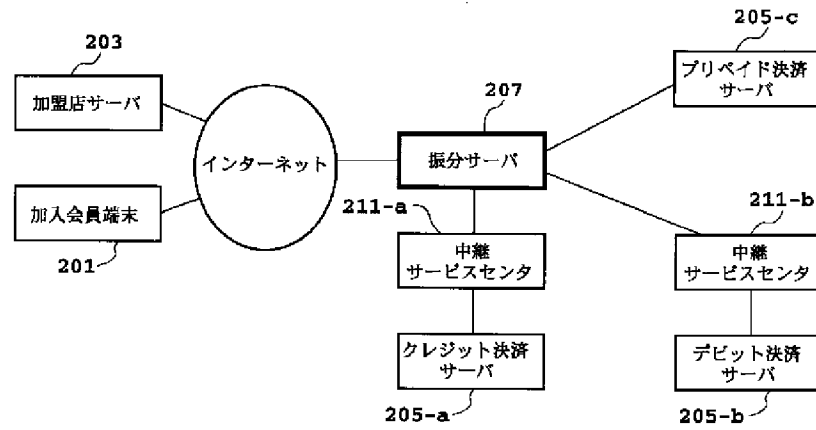
【図1】



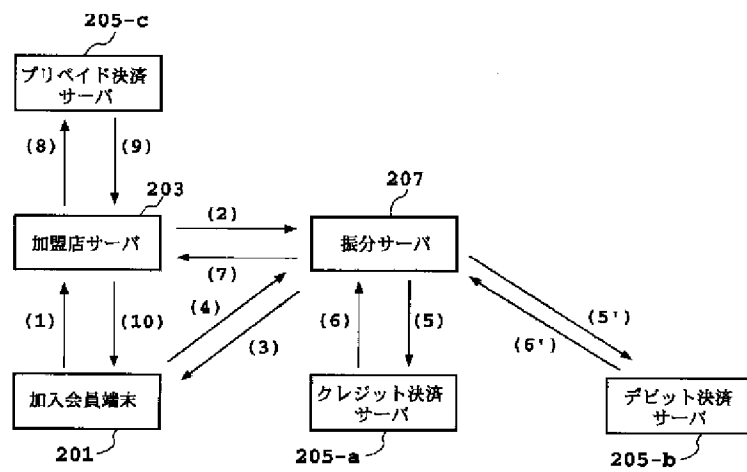
【図5】



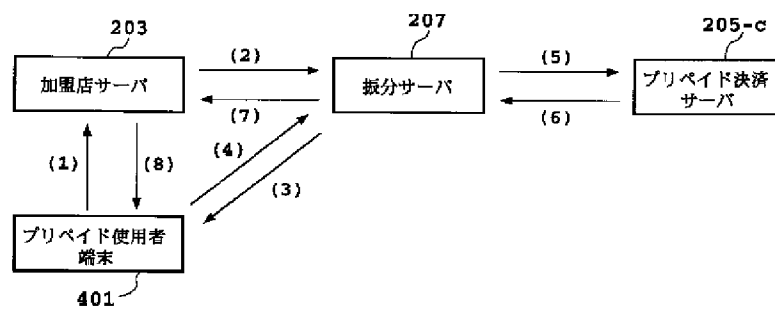
【図2】



【図3】



【図4】



【図6】

パスワードの入力

識別番号とパスワードを入力してください。

識別番号

パスワード

OK キャンセル